

「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	6年	内容項目	1 - (2)
主題名	夢（目標）に向かって				
資料名	たゆまぬ努力で困難をのりこえる 本居宣長 「三重県 心のノート 小学校5・6年」（三重県教育委員会）				
ねらい	目標に向かって努力し続ける宣長の生き方から、「夢（目標）の実現には何が必要なのか」について考え、今の自分を振り返り今後の自分に生かすことができる。				
展開	学習活動と主な発問			指導上の要点	
	<ol style="list-style-type: none"> 1 資料を読み、本居宣長について知る。 2 「なぜ長い時間をかけ、古事記を研究しようとしたのか」について、宣長の思いや考え方について話し合う。 3 レーサーの福山英朗さんと似ている所について話し合う。 4 心に残った言葉や生き方・考え方から、夢（目標）を実現するためには何が必要なのかを考えるとともに、自分自身を振り返り、これからの自分に生かそうとする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の歴史で学んだ本居宣長の生い立ちや生き方を知る。 ・日本人の心について明らかにするために、「古事記」を長年研究した宣長の思いを知る。 ・本人のたゆまぬ努力とともに、賀茂真淵との出会いや困った時には旅人の智恵を借りるなど、周りの人に助けをもらいながら目標を達成した生き方に気付かせる。 	
他の教育活動との関連	総合的な学習の中で、レーサーの福山英朗さんをお招きして、「夢を叶えるために」というテーマで話を聞かせていただいた。夢の実現のためには、強い思いを持ち続け努力すること、困難な時にこそがんばること、常に一生懸命に取り組むこと、また、周りの人のためにがんばれる自分になるようとすることの大切さを学んだ。				
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・夢（目標）に向かって生きるために、努力を怠らず、継続することが大切であることを学んだ。すぐにあきらめたり、できない言い訳をしてやろうとしなかったりする子どもたちにとって、宣長の生き方や一つ一つの言葉が心に染みたようである。 ・「とにかく一生懸命努力すること」「途中であきらめないこと」など、レーサーの福山さんの話と重なる点が多く、より深く心に響き、自分自身を見つめ直し、これからの生き方に生かそうとする姿勢が見られた。 				